



▲3月3日には、市長事務引継が行われました

新市長就任の挨拶

2月5日に行われました市長選挙におきまして、市民の皆様から御信任をいただき、3月6日、福津市長に就任いたしました。市長としての重責を担うにあたり、使命を持って市政運営にまい進していく所存です。

私は、平成23年から福津市議会議員を6年間務めてまいりました。市議会議員として市政に携わってきた経験を生かして、これまでの福津市の成長を止めることなく、20年後、30年後の福津市の姿を見据えて、市の発展のためにさまざまな施策に取り組んでいきます。

地方自治を取り巻く情勢は、超高齢社会の進行や労働人口の減少、それに伴う税収の減少など、厳しさを増しています。福津市においても、人口が増加を続けている一方で、社会保障への経費の増大や、子育て支援の問題など、たくさんの課題を抱

えています。

一つ一つの課題に対して、市民の皆様や市議会、市職員との対話を重視した行政運営を行います。そして、市民の皆様の幸福のために、先人から受け継いだ伝統を守りながら、新しい福津を作っていきます。

公共施設についても、統廃合や民営化についてもまとめたい財政集中改革プランを見直し、それぞれの施設の在り方を再度検討します。また、女性が活躍できる社会の環境整備のために、女性副市長を登用します。

今後は、市民の皆様と共に、一丸となって取り組むことができるまちづくりを進めてまいります。温かい御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。市長就任の御挨拶とさせていただきます。

原崎 智仁

前市長退任の挨拶

この度、任期満了となる3月5日を迎え、市長の職を退任することになりました。

平成21年に就任して以来、2期8年間の長きにわたり、市長の職を担わせていただきました。市の発展と共に任期を終えることができました。2期目の後半には人口が6万人を突破、福岡駅周辺は商業施設やマンションなどが立ち並ぶなど、市のいたるところで起きる目覚ましい変化を、目の当たりにすることができました。

また近年、住みよさに関しても、民間が行った調査において全国的に高い評価を得られるなど、魅力あるまちづくりを進めることができました。

さらに、歴史や文化、自然環境についても、福津市はたくさん魅力あふれる財産を持っています。その一つである、海岸

線に広がる松林が市民の皆様の大なる御協力により美しさを取り戻せたことは、将来の世代にわたって誇れることではないかと思えます。

また、新原・奴山古墳群に関しましても、平成27年に国からユネスコ世界文化遺産推薦候補決定を受けてからも順調に進展しており、7月には正式に登録されることかと思えます。これも皆様のなみなみならぬ御支援と、福津市を愛する心によって成し遂げられてきたことではないかと思えます。

結びになりますが、これまで御協力を賜りましたことに感謝申し上げますとともに、今後ますますの福津市の発展と、市民の皆様への御健勝、御多幸を祈念いたしまして、退任の御挨拶とさせていただきます。

小山 達生